

火山噴火予知連絡会「火山観測体制等に関する検討会」の設置について

1. 目的及び検討事項

火山災害の軽減には、調査研究の一層の推進及びその成果を活用した観測体制の強化等が重要である。このため、火山噴火予知連絡会に「火山観測体制等に関する検討会」を設置し、①調査研究の推進及びその成果を踏まえた監視体制のあり方、②国として必要となる観測網、観測データの流通及び共有化体制のあり方について検討する。また、③関係各機関の役割分担と観測網整備の優先度を踏まえた火山ごとに必要な具体的な観測網のあり方を取りまとめる。

(参考) 火山噴火予知連絡会の任務のひとつに、「火山噴火予知に関する研究及び観測体制の整備のための施策について総合的に検討すること」がある。本検討は、この任務によるものである。

2. 検討会構成メンバー

座長：清水 洋（九州大学大学院理学研究院教授）
 委員：井口 正人（京都大学防災研究所准教授）
 池内 幸司（内閣府参事官（地震・火山対策担当））
 石原 和弘（京都大学防災研究所長 火山噴火予知連絡会副会長）
 植木 貞人（東北大学大学院理学研究科准教授）
 鶴川 元雄（防災科学技術研究所火山防災研究部長）
 大島 弘光（北海道大学大学院理学研究院准教授）
 篠原 宏志（産業技術総合研究所地質情報研究部門マグマ活動研究グループ長）
 西本 晴男（国土交通省砂防部砂防計画課火山・土石流対策官）
 藤井 敏嗣（東京大学地震研究所教授 火山噴火予知連絡会会長）
 増子 宏（文部科学省研究開発局地震・防災研究課長）
 村上 亮（国土地理院地理地殻活動研究センター長）
 森田 裕一（東京大学地震研究所准教授）
 山岡 耕春（名古屋大学大学院環境学研究科教授）
 山里 平（気象庁気象研究所地震火山研究部第三研究室長）
 山本 哲也（気象庁地磁気観測所調査課長）
 横田 崇（気象庁地震火山部火山課長）

（五十音順）

※必要に応じ、座長は、上記以外のその他の委員及び臨時委員、委員以外の学識経験者等の出席を求めることができる。

3. 検討スケジュール

来年度末までに検討結果を取りまとめる。

- ・第1回検討会（2月25日）

検討を進めるにあたり、調査研究面から見た観測網、監視面から見た観測網についての現状を確認し、必要となる観測網についての全体的な面からの意見交換を行い、今後の検討内容及びスケジュールを検討。

- ・第2回検討会（4月～5月を予定）
 （・第3回検討会以降のスケジュールは未定）